

令和8年4月吉日

四国理学療法士会  
会員各位

四国理学療法士会  
会 長 木口 大輔  
第54回四国理学療法士学会  
学 会 長 鷺 春夫  
準備委員長 後藤 強  
(公印略)

## 第54回四国理学療法士学会のご案内

謹啓 早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、第54回四国理学療法士学会を下記要項にて開催の運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、多数の会員の皆様の演題発表と参加をお待ちいたしております。

謹白

## 開催趣意書

現代において、理学療法は障がいのある方の機能回復に留まらず、疾病予防、労働者の健康増進、行政さらには地域づくりに至るまで、その役割・活躍の場を大きく広がり、それぞれのフィールドにおいて求められる役割・知識・技術は多岐に渡っています。そのため、先人達がこれまで積み上げてきたエビデンスを引き継ぎながら、最新のテクノロジーと知識、技術、研究を融合させ、生産性を向上させなければならないと強く感じております。

そこで、第54回四国理学療法士学会ではテーマを「革新開拓～理学療法士の未来像～」としました。「革新開拓」とは「既存の枠組みにとらわれず、新たな技術や手法を導入する他、新たな職域を開拓し、社会や産業に新しい価値を創出する」という意味です。我々は、理学療法が社会に十分認められるために果敢な挑戦を続けることで、更なる新たなステージへと繋がると考えております。

また、本学会では平成22年度に四国で初めて大学に理学療法学科が設置された徳島文理大学を会場として使用します。むらさきホール（定員1300名）の他、アカンサスホール（定員450名）やアカンサススタジオなどを準備し、特別講演 2題とスキルアップセミナー 2題、四国各県の理学療法士によるシンポジウム、一般演題は90演題を予定しています。多くの会員のご参加をお待ちしています。